

1 組織機構編

○ 組織のスリム化(縮小化)

目的 ・ ・ ① スリムでスピーディな組織づくりを目指し、あらゆる分野の組織を見直し、大胆な組織の再編、スリム化を図るとともに、組織の活性化や職員の資質・能力向上等により生産性を高め、人件費を抑制する。

○ 審議会（内部機関）等、外輪団体等の

目的 ・ ・ ① 審議会等の適正な設置や公正かつ円滑な運営等を図るとともに、男女共同参画計画の目標達成を目指すこと。
② 外輪団体等の健全かつ自立的な団体運営が可能となるよう、運営形態等の改善を図ること。

市民参加型の行政施策構築編

○ 市民参加型施策決定システムの構築

目的 ・ ・ 地方分権の進展等に伴い、市民に直結する地方行政の役割の重要性が高まる中、市民の視点に立った効率的な行政運営を推進していくためには、市民の合意形成や理解、協力が不可欠であり、市長施策の方針を検討していく段階から、何らかの形で市民の意思がより反映されるような市民参加型の施策決定システムの構築を図ること。

2 職員編

○ 求められる職員像とは

- ① 市の未来を考える職員として、柔軟な思考力、豊かな創造力、夢を施策にする企画力を高め、問題意識と変革への意欲を持っていること。
- ② 市民のために行動する職員として、社会環境の変化を読み取り、市民感覚で考え、経営感覚と先見性を持っていること。
- ③ 市民から信頼される職員として、全体の奉仕者としての使命感と情熱を持ち、人権意識と自己啓発を自覚し、誠意ある対応ができること。

目的 ・ ・ 政策形成能力・行政経営能力・コミュニケーション能力・

○ 職員の意識改革

- 目的
- ・・・① 事務事業の執行に際し、成果志向、顧客志向の行政評価システムを導入し、全職員が業務執行能力を向上させ、効率よく質の高いノウハウを活用することで市民への行政サービスを効果的、効率的に提供できるよう、目的意識を持って、常に前向きな姿勢で行財政改革に取り組むこと。
 - ② 職員は、厳しい財政事情を認識し、費用対効果や時代のニーズへの適合の点検を行うとともに、適時適正に決定できる判断能力を養うこと。
 - ③ 管理的立場にある職員は、施策、事業に関する意志決定や組織運営などでマネジメント機能を発揮すること。

3 事務・事業の再編整理編

○ 行政の守備範囲の見直しと住民との協働

- 目的
- ・・・① 限られた経営資源（人員・財源等）の中で、多様化・複雑化する市民ニーズに応えるために、行政と市民・民間・ボランティア等との役割分担を見直し、行政の守備範囲の適正化（縮小）を図ること。
 - ② 行政と市民との協働（パートナーシップ）関係を発展させること。

○ 行政が行うサービスの取捨選択と整理・合理化

- 目的
- ・・・行政がより質の高いサービスをより低コストで提供するため、行政と民間事業者との役割分担を見直し、事務・事業及び施設等の運営、管理を民間事業者への移譲を推進すること。

○ 事務。事業コストの縮減化

- 目的
- ・・・限られた財源や職員配置の中で、多様な行政ニーズに応えるため、費用対効果の検証に基づく事務・事業の見直しにより、コスト縮減と見直し前の目的、効果を得ること。

○ 補助金等の支出の見直し適正化

- 目的
- ・・・補助金、助成金等は、市から個人・民間団体等へ行政上の目的をもって給付されているが、その効果的な活用により、福祉増進、地域活性化や産業振興などの公共課題の解決に有効な手段となっているが、
 - ・ 給付の申請手続きが複雑で、無駄な事務処理を誘発。
 - ・ 給付主体による判断基準がまちまちで、判断根拠が不透明。
 - ・ 給付による具体的な効果が見えにくい

- ・給付が既得権化する一方、機動的な見直しが難しいなどの問題点も多く、市の財政事情が厳しくなる中で、こうした問題の解決策を図ること。

○ 施設のあり方

- 目的
- ・施設の設置目的、利用人員、施設の稼働率、類似施設の整備状況などを検討の上、整理・集約化を図り、市が引き続き管理運営していく場合は、施設使用料のあり方を見直す。